

広報

Rotary



ロータリー

季節のたより

No.46

発行 令和6年(2024)7月3日

平田ロータリークラブ クラブ広報・公共イメージ委員会



海の落語プロジェクト・海岸清掃

令和5年10月3日(火)
北浜小学校・平田小学校

平田ロータリークラブ創立50周年の記念事業として、「ふるさとを未来につなぐプロジェクト」を開催、～地域の子どもたちと共に海洋問題を学ぶ～を行いました。

午前中は北浜小学校で、午後は平田小学校で授業を行い、この事業が子供たちのためになることを期待しています。

HIRATA ROTARY

ロータリーは

人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度な道徳的水準を守ることがを奨励し、世界における親善と平和に寄与することを旨とした実業人、専門職業人が世界に結び合った団体です。

1業種5人以下、週1回のクラブ例会を通じ親睦を深め、職業を通して地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっています。

名称 平田ロータリークラブ

所属 国際ロータリー第2690地区第4グループ

創立 昭和49年5月30日(1974年)

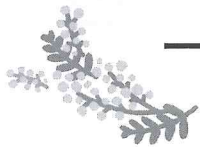
会員数 35名(令和6年6月30日現在)

クラブ例会 毎週木曜日12時30分～13時30分

事務所 〒691-0001島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所内2F

TEL(0853)63-3232 FAX(0853)63-5365

ホームページ <http://hirata-rotary.jp/>



一年を振り返って

2023-2024 年度

会長 清原 正 幸

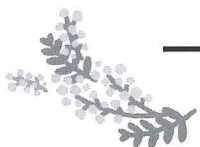


ロータリーは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。そしてロータリーの使命として、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進していきます。

平田ロータリークラブは、1974年5月30日に23名のメンバーにより創立して以来、本年50年を迎えることが出来ました。これもひとえに、地域の皆様のご理解とご協力のお陰であります。心より感謝申し上げます。

本年度クラブテーマを「希望に満ちた未来へと継なぐ」としました。先の見えない時代といわれる昨今、個人の満足感やモチベーションを保つには「希望」を持つことが必要不可欠です。コロナ禍を経た今こそ明るい「希望」を持ち、未来へ継なげることが必要であると考えます。そこで本年、地域に住む子どもたちに環境問題を通して自然の恵みの大切さ、美しいふるさとの魅力を再発見する事業をおこないました。子どもたちと一緒に「希望」が持てる地域になるよう継続して活動してまいります。

ロータリーが、地域の皆様に支えられて半世紀が経ちました。感謝を忘れず、今後とも、地域密着の活動、人と人のネットワークを生かし、地域の真のニーズを見極め、課題に取り組む、奉仕の理想すなわち「他人のことを思いやり、他人のために尽くす」ことを実践してまいります。我々の活動に共感していただける方の入会をお待ちしております。



一緒に活動しませんか

2023-2024 年度

幹事 松浦 剛 司



2023～2024年度平田ロータリークラブは創立50周年を迎え、「希望に満ちた未来へと継なぐ」をテーマに掲げました。このまちの未来を考えた時に主役となるのは次世代を担う「子どもたち」になります。子どもたちの為に何が残せるか、激動の時代を生き抜く為に子どもたちに今何を伝えるべきかを考え企画しました。昨秋、子どもたちと共に環境問題を学び取り組んだ海岸清掃。幼き頃に失明しながらいじめを経験し、教員生活を送られた竹内昌彦氏をお呼びしての教育講演会では、多くの来場者の皆さんと笑い泣きながら「生きる意味」や「命の尊さ」を学ぶことができました。平田ロータリークラブはこれからも子どもたちのため、このまちのため、「奉仕」を活動の柱に活動に邁進してまいります。ロータリークラブに興味のある方、ぜひ一緒に活動しませんか。

平田ロータリークラブ創立50周年 ～未来への展望～



創立50周年実行委員会
実行委員長

飯塚 大幸

ふるさとを未来につなぐ

平田ロータリークラブは、1974年（昭和49年）に発足し、今年で50周年を迎えました。「ふるさとを未来につなぐ」をテーマとして多くの記念事業を行いました。

SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」から、北浜小、平田小の生徒さんと「ふるさとを未来につなぐワークショップ」を行いました。総勢192名、落語「プラスチックごみだらけの竜宮城」を楽しみ、環境学者から温暖化・漂着ゴミ・海洋プラスチックゴミ・マイクロプラスチックなどを学び、皆で一緒に海岸清掃。

クラブ例会では、毎食「ブルーシーフード」をいただきました。乱獲や汚染などで絶滅や枯渇が心配のレッドやイエローではなくて、もっと資源量が豊かな魚をたくさん食べようという世界的な取り組みです。

記念講演は、出雲出身の上田勝彦先生（株ウエカツ水産代表、東京海洋大学客員教授）の「変わりゆく海と魚 平田に住む私たちには何が出来るかを考える」。ふるさとの海、宍道湖、斐伊川、美しい山々と田園の風景。ここに住む、ここに帰る、ふるさとを未来につなぐ。持続的な発展という願いを込めました。

50th anniversary of Hirata Rotary Club

平田ロータリークラブ創立50周年

令和6年2月23日(金) ホテルほり江

記念式典



記念講演



東京海洋大学客員教授
株式会社ウエカツ水産
代表 **上田 勝彦** 氏

漁師、水産官僚の異色の経歴を持ち、「魚の伝道師」と呼ばれるウエカツこと上田勝彦氏にご講演いただきました。

魚食普及人として日本の魚食普及のために魚食文化を広めるために日々奮闘されているお話や温暖化による現在の海の課題についてお話をいただきました。



ロータリー財団地区補助金事業 講演会

令和5年11月24日(金)
平田文化館プラタナスホール

平田ロータリークラブでは創立50周年にあたり、基本構想の一つとして「青少年健全育成事業」の実践を掲げております。昨年11月に、竹内昌彦先生をお呼びして教育講演会を開催いたしました。当日は、出雲市教育委員会、杉谷教育長ご臨席のもとご講演いただきました。

2022年度文科省の調査では小、中、高校生のいじめ件数が過去最多の約69万件になっています。これも報告のあった数で、まだまだたくさんの事例等があるといわれています。

ここ出雲市においても同様であります。そして今この時もいじめに苦しんでいるお子さん、そして親御さんがいらっしゃること、非常に悲し



認定NPO法人
ヒカリカナタ基金
理事長

竹内 昌彦 様

いことです。当日は竹内先生も幼少期のころから壮絶ないじめや差別を受けてこられました、ご自身の経験から語られる命の尊さ、生きることの大切さなどについて語っていただきました。



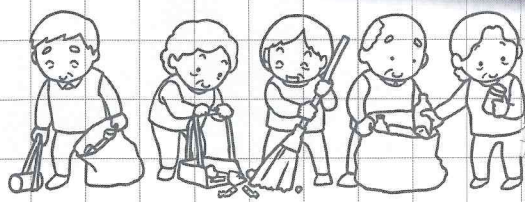
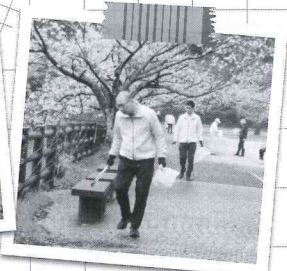
奉仕プロジェクト

社会奉仕委員会

令和6年4月4日(木)

清掃奉仕

朝より、社会奉仕委員会のもと愛宕山公園前 廻の奥池周辺・ファミリー広場で早朝より奉仕作業を行いました。この愛宕山には昨年、地区補助金事業を活用して寄贈したポニーの「たっちゃん」がいます。



平田ロータリークラブ会員名簿

会長 清原 正幸

幹事 松浦 剛司

副会長 來間 久

副幹事 原 伸雄

令和 6.6.30 現在

氏 名	職 業 分 類
安 食 賢	社会保険労務士
荒 木 克 之	総 合 建 設 業
遠 藤 寛	ガ ス 供 給
福 田 智恵子	内 装 業
福 田 磨寿穂	司 法 書 士
原 伸 雄	印 刷
原 孝 士	印 刷
川 上 享	商 業 銀 行
堀 江 卓 男	ホ テ ル
飯 塚 大 幸	仏 教
飯 塚 洋 道	商 業 銀 行
石 原 俊太郎	石 油 卸 販 売
神 田 慎 一	美 術 商
加 藤 昇	文 房 具 販 売
木 村 文 彦	精密機械部品製造業
清 原 正 幸	自 動 車 販 売
來 間 久	菓 子 製 造 販 売
牧 野 晴 彦	呼 吸 器 内 科 医

氏 名	職 業 分 類
槇 野 良 文	電 気
松 浦 剛 司	ケ ー ブ ル テ レ ビ
三 好 洋 平	鋳 鉄 鋳 物 製 造 業
小 汀 泰 之	税 理 士
大 島 淳 司	事 務 用 品 販 売
大 島 卓 爾	私 立 学 校
大 谷 厚 郎	電 車
大 谷 良 治	印 刷 企 画
太 田 哲 也	胸 部 外 科
園 敬 司	贈 答 品 製 造 販 売
園 山 繁	ホ テ ル
杉 原 朋 之	葬 祭 業
高 砂 明 弘	醬 油 製 造
多久和 優 美	ア ナ ウ ン サ ー
田 中 浩 史	写 真 用 品 販 売
土 江 光 二	土 木 ・ 土 工 ・ 浚 渫 業
恒 松 克 己	口 腔 外 科

平田ロータリークラブでは、新しい仲間を募集しています。

私たちと一緒に奉仕の活動に参加してみませんか。

お待ちしております。

